

# MAIL MAGAZINE

メールマガジン

## インドのIT産業と今年もイチ押し「白銀河」！

### JSC 貿易部ニュース インド編

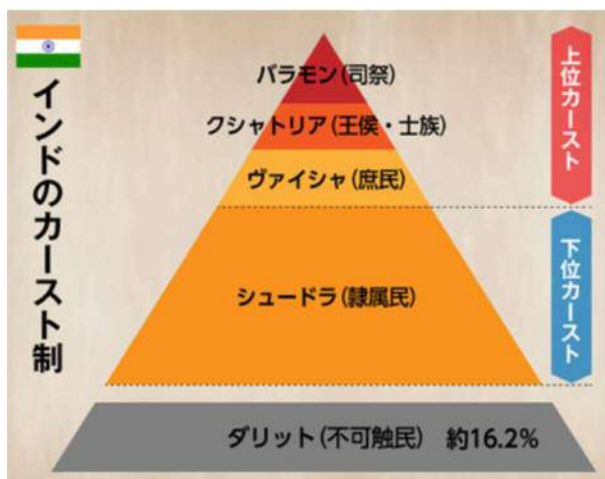
JSC 貿易部ニュースをいつもご覧頂きありがとうございます。

さて、今月はインド経済のお話から。四年後の2027年には日本を抜いてGDP世界第三位の国になるとも言われている経済成長著しいインド。特にIT分野の人材力に強みを持つことは有名です。

マイクロソフト、グーグル、アドビー、IBMなど、世界的にも有名なこれらのIT企業のCEO（最高経営責任者）も全てインド出身者もしくはインド系の人々です。また近年、Paypayや楽天などの日本企業もIT人材確保のためにインドに進出しています。

なぜインド人がIT分野で強いのかについては、メディアでも色々報じられています。

例えば、インド式計算法に理由があるとか、英語力があるからだとか、アメリカのIT産業の下請けとして鍛えられたからだとか、中には、インド古来の階級制度「カースト」と結び付けた論評を目にすることもあります。



以前のインドでは、カーストの階層に応じて職業が割り振られていました。

しかし、新しい分野であるIT産業は、カーストの制約を受けることなく、成功を夢見る優秀な下位下層の人材の受け皿となり競争力を持ったとも言われています。

実際はどうかはわかりませんが、様々な

下地があって、インドが優秀なIT人材の供給地になっていることは間違いないようです。

しかし、インドのシリコンバレーと呼ばれるベンガロールに事務所を置く弊社インドのパートナーは、このカースト説に反論していました。

彼曰く、インド現地の情報によると、実はベンガロールで IT 産業に従事する技術者の 70% 以上は、先進カーストと言われる上位階層（バラモン、クシャトリア、ヴァイシャ）が占めているそうです。親の学歴も大卒以上が多いようです。

「低階層の人々は実際にはあまり IT 業界では活躍はしていないのですよ」との話でした。



(写真はインドのシリコンバレー、ベンガロールの風景)

どちらが本当なのかはよく分かりませんが、15 歳から 64 歳までの生産年齢人口が総人口の 70%、9 億 5 千万人からいるインドです。

チャンスをつかもうと様々な人材が IT 業界に飛び込んだのではないかと思います。

## さて今月の石のお話！

昨年の「自社仕入インド材キャンペーン」でもご好評頂きました「白銀河（銀河 ATP）」ですが、年々取扱量が減っていく石種が多い中、毎年取扱量が増えてきています。

おかげさまで、昨年と比べても 40%以上の取扱量アップとなりました。

これもひとえにお客様のおかげでございます。

本当にありがとうございます。m ( )m

そして、今年も続けて中国のパートナー工場から原石の追加注文を頂いております。



写真は、2023年1月時点現在、最新の丁場状況です。



今年はポンガルと呼ばれる南インドの収穫祭が 1/14～1/17 まででした。その間は丁場も休止していましたが、休暇明けは安定して採掘しています。



今年もお約束の安心と信頼の JSC マークの付いた「白銀河（銀河 ATP）」です。（＾＾）





三月初旬には中国工場に到着予定です。



白銀河、2023年、今年もイチ押しです！！

すでにお使いいただいている石材店様も、まだ使った事のないという石材店様もドンドンご用命頂きます様よろしくお願い致します！

では、今月号も最後までご覧頂きありがとうございます。  
良き春をお迎えになりますようお祈り申し上げます。

以上

2023/02/01